

令和6年度（2024年度）第3回長房中学校区地域づくり推進会議  
及び長房の未来をつくる会 議事概要

日時	令和6年（2024年）9月7日（土）9:30~12:00
場所	長房小学校 1階 プレイルーム
出席者	参加者：縣、高坂、清水、鈴木、中嶋、西山、本堂、野副、森、森本、山陰、渡辺、大谷、田名網、石塚、秦、小塚、富加津、木村 高齢者あんしん相談センター長房：古座野 シルバーふらっと相談室長房：光富 社会福祉協議会：久住 長房小学校校長：川村 市地域づくり担当：新納、松崎、松下、和田 青少年若者課：堀川、和田 放課後児童支援課：倉田
配布資料	・資料1 取組の報告 ・資料2 第3回 意見交換（テーマ）「地域づくり推進事業を長房地域全体の取組にしていくためには」 ・資料2-1 トークテーマ検討シート ・その他 中郷子ども・若者育成支援センター長房分館の中郷子ども・若者育成支援センターへの統合について

## 1 開会

事務局より挨拶、資料確認。

## 2 事務局からの報告

### （1）第6回八王子市地域づくり推進基本方針改定懇談会について

第6回八王子市地域づくり推進基本方針改定懇談会の報告を行った。

<説明内容>

- ・ 7月2日に第6回懇談会を書面にて開催した。
- ・ 主な内容としては、第5回懇談会の際にお示した地域づくりを進めるにあたっての「基本的な考え方」に基づき素案を作成し、懇談会参加者からの意見聴取を実施した。
- ・ 第5回懇談会でお示した「基本的な考え方」については、①地域づくりの目的・定義については変更しない。②推進会議（プラットフォーム）の機能・役割は「出入りが自由で、地域内外の人とつながり、地域のことを一緒に考え、情報共有ができる場」とする。③地域づくりの3原則（自発・自前・自在の原則）に沿った取組へ移行を目指していく。
- ・ 今後のスケジュールとしては、10月1日~31日の期間でパブリックコメントを実施し、翌年1月に第7回懇談会を実施し、3月に改定版の公表を予定している。
- ・ 推進会議参加者の皆さんには、パブリックコメントを開始した際にお知らせをお送りするので、ご意見のある方は、意見書を提出いただきたい。

## (2) 中郷子ども・若者育成センター長房分館について

資料「中郷子ども・若者育成支援センター長房分館の中郷子ども・若者育成支援センターへの統合について」をもとに、所管課である青少年若者課から説明を行った。

＜説明内容＞

- ・ 昨年 11 月に児童館から子ども・若者育成支援センターという名称に変わり、子ども・若者へのサポートとして、①プッシュ型(アウトリーチ型支援)の開始、②支援対象年齢の拡大、③居場所・多世代交流の場としての機能を強化した。また、今年の 4 月には“はちびバ”という愛称が決まったところ。
- ・ こうした中で、この度、施設の老朽化及び再編・拠点化を推進するため、中郷子ども・若者育成支援センター長房分館を廃館し、中郷子ども・若者育成支援センターに統合することとした。
- ・ 理由としては、既にご存知の方もいるかもしれないが、令和 6 年度以降、長房分館の上下水道管の劣化や木の根が貫通したことによる漏水・つまりが発生している状況であり、応急処置として対応しているものの、施設にあるトイレは一部しか使用できない状況。
- ・ そうした状況もあり、同施設内にある学童については、今年の 3 月から長房小を使用している。
- ・ 配管の一部は施設の下にあり、交換するにも施設の一部を取り壊さなくてはならない。また、施設も建設から 53 年が経過しており、新たに建て直しを行うにも、大規模な費用がかかるため、統合という判断をした。
- ・ 今後のスケジュールとしては、9 月以降、利用者に説明会を実施し、今年度末をもって分館は廃館し、統合する予定。

〈長房小 川村校長先生より報告〉

- ・ 長房小としても状況を伺いながら対応してきた。
- ・ 学童の子どもたちからは、校庭を広く使って遊べるようになったことや放課後子ども教室である「スマイル」の子どもたちと一緒に遊べるなど良い意見をもらっている。
- ・ 保護者からも小学校内にあるということで安心して預けることができるなどの意見をもらっている。
- ・ 先日の放課後、草むしりをしていたところ学童や「スマイル」に通う子どもたちが手伝ってくれるなど、うれしい出来事もあった。
- ・ 来週以降、手紙や HP を活用して、施設の統廃合についての話を子どもたちや保護者にして行こうと思っている。

## 3 取組の報告と情報共有

みんなの食堂について

- ・ 7/27 に今年度、第 2 回目の「みんなの食堂」を開催した。今回は船田学童に通う児童・生徒とその保護者を対象に開催し、合計で 42 名の方に参加いただいた。船田学童は小学校 3 年生までを対象にしており、低学年の子どもが多かったため、保護者の参加も 13 名ほどあった。
- ・ 今回もスーパーアルプス、バーゼル洋菓子店、高齢者あんしん相談センター長房にも協力

いただき無事に執り行うことができた。

- ・ 次回は 9/21 に開催を予定している。

#### 長房みらい市場（防災イベント）について

- ・ 「長房みらい市場」については、地元のお店に限定したことや暑さの影響もあり、出展者数が想定に満たず、中止の判断をした。同時開催を予定していた防災イベントについては、開催を予定していたが、今回の台風の影響で同じく中止とすることとなった。
- ・ 起震車や消火器の準備、カインズとの調整など開催の準備は整っていたところだったので、非常に残念に思う。
- ・ カインズや消防団の方々にも前向きにご協力いただけそうなので、今回の経験を活かし、来年開催しようと思っている。

#### 長房の未来をつくる会の HP について

- ・ Nothion というソフトウェアで HP を作成した。活動内容やニュースリリース等の項目を設け、Instagram と連携してある。
- ・ 今年度は試行運転として、役員でチェックしたうえで掲載するかたちにしてはどうかとの意見もあったので、そのように運用していく。
- ・ 配布資料に QR コードを掲載しているので、ご確認いただき掲載したいイベント等があればご相談いただきたい。

## 4 第3回 意見交換

資料2「意見交換（テーマ）地域づくり推進事業を長房地域全体の取組にしていくためには」及び資料2-1「トークテーマの検討シート」をもとに説明を行った。

<説明内容>

- ・ 第1回の意見交換では、「地域づくり推進事業を長房地域全体の取組にしていくためには」というテーマのもと、グループに分かれて検討を行い、取組を広げるための手段について、多くのアイデアが出てきた。
- ・ 第2回では、取組を周知することと同様に、推進会議の場で話合う内容が重要であることを確認し、参加する人にとって有意義なものにしていくため、参加者の皆さんとトークテーマを決めて進めていくということとした。また、「推進会議で行う意見交換のテーマの検討」というシートを配布し、話したいトークテーマがあればご提案いただくようお願いした。今日は、そのシートを用いて発表いただき検討していく。
- ・ トークテーマの項目を大きく「周知系」「仲間集め系」「困りごとの共有系」「議論系」の4つに分類した。「周知系」や「仲間集め系」「困りごとの共有系」については、参加者の皆さんにいつも通りに声掛けを行っていただく。
- ・ 「議論系」については、提案者にそのトークテーマを選んだ“想い”を発表いただき、参加者から多くの“共感”を得られたものを次回のトークテーマの候補として採用し、後日役員会で話の進行について検討していく。
- ・ 参加者の皆さんには「トークテーマ検討シート」をもとに提案のあったトークテーマに対する共感度にポイントを付けてもらいたい。

- ・ これは、これまで市が主導で進めてきた推進会議での議論が参加者から多くの“共感”が得られず、結果として「やらされ感」や「負担感」につながってしまったという経験を踏まえて考え、提案しているもの。
- ・ 参加者からより多くの“共感”が得られたトークテーマであれば、話し合いが実りのあるものになるのではないかという想いもある。

## <主な意見・提案>

### みんなの食堂について

- ・ これまで行ってきた「みんなの食堂」では、長房・船田の学童に通う児童・生徒を対象に行っていた。来年度以降は、多世代間の交流という観点も踏まえて、行っていきたくて考えている。例えば、高齢者と一緒に調理を行うとか。
- ・ また、お手伝いは、現状ほとんど民生委員が行っている。船田では、学童に通っていない子どもの保護者は取組を全く知らない。そういう点も含めて、取組の広がりを感じない。参加者の幅を広げて多くの地域の方々に入っていただきたいし、高齢者の知恵を借りるかたちで進めていける方が将来的に地域に広がっていくと思う。
- ・ 今はコピオ長房でスーパーアルプスを頼って開催している状況だが、他の場所での開催も考えていきたい。  
⇒地域にあるサロンに声をかけて、一緒に開催できるようにしても良いのではないかな。

### 新しいプロジェクトについて

- ・ 「地域づくりの3原則」である自発・自前・自在の原則を実現させるためには、この会議が参加者にとってメリットがないといけないと思っている。例えば、推進会議の場で地域や団体の困りごとを話すと、解決策が見つかるとか、仲間が見つかるとか、何か1つでもみんなでやってみるといったようなイメージ。
- ・ 地域が活性化するには、子どもが元気でなければいけない。そのためには、その保護者が元気でなければいけないと思う。子育てに関しては、子どもを預かる場所などの支援はあるが、精神的なケアについては少ない印象がある。子育て中のお母さんなど、そういった層に向けた活動について話し合えるといいのではないかな。ゴールとしては、それを進めるプロジェクトが立ち上がること。

### サークル活動・文化祭について

- ・ 地域に軽音楽部などのサークルがあるといいなと思っている。高齢者向けのサロンは充実しているが、一世代下の人達向けのサークル等は多くない。
- ・ そういったサークル活動から発展させて、文化祭のような発表の場ができると、美術系や合唱など多世代がつながるきっかけとすることができるのではないかな。

### その他の意見

- ・ 改めて参加者に提案シートを配って集約してほしい。
- ・ 今ある活動が確立していない中で、どこまで提案していいのかわからない。  
⇒やりたい・やってみたい活動や取組は、とにかく多く出していいと思っている。ま

ず提案がないと始まらない。その中から共感が生まれて仲間が見つかるかもしれない。それぞれが持っているつながりの中で仲間に加われそうな人を紹介できるかもしれない。

## 5 長房の未来をつくる会 取組の打合せ等

議事概要については、長房の未来をつくる会で別途作成。

## 6 閉会

以上